

令和6年1月17日（水）

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
「地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり」フォーラム

学校のカリキュラムと地域等の 連携・協働の取組

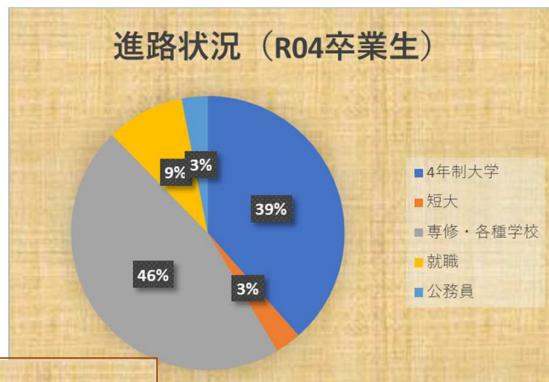
広島県立日彰館高等学校
今川俊文

発表の概要

- 1 学校概要
- 2 協働体制（横のつながり）
- 3 協働による教育課程の編成
- 4 行政等との連携
- 5 協働体制（縦のつながり）
- 6 地域と連携した教育課程の編成
- 7 成果と課題

1 学校概要（生徒数・進路状況）

生徒数	
第1学年	80
第2学年	74
第3学年	52
合計	206



1 学校概要（沿革）

日彰館高校の歴史 創立129周年

明治27年 私立日彰館開校 昭和44年県立に移管

館祖 奥愛次郎先生の説く 三大主義

徳教主義

田舎主義

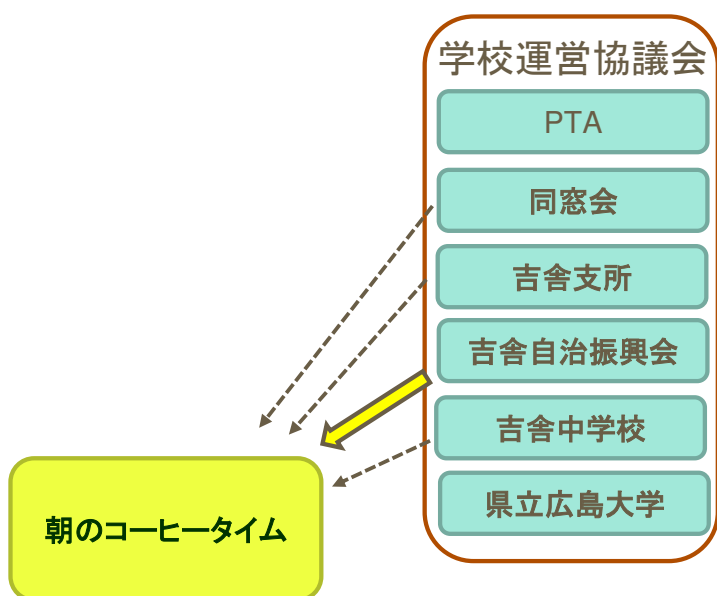
私学主義

継承

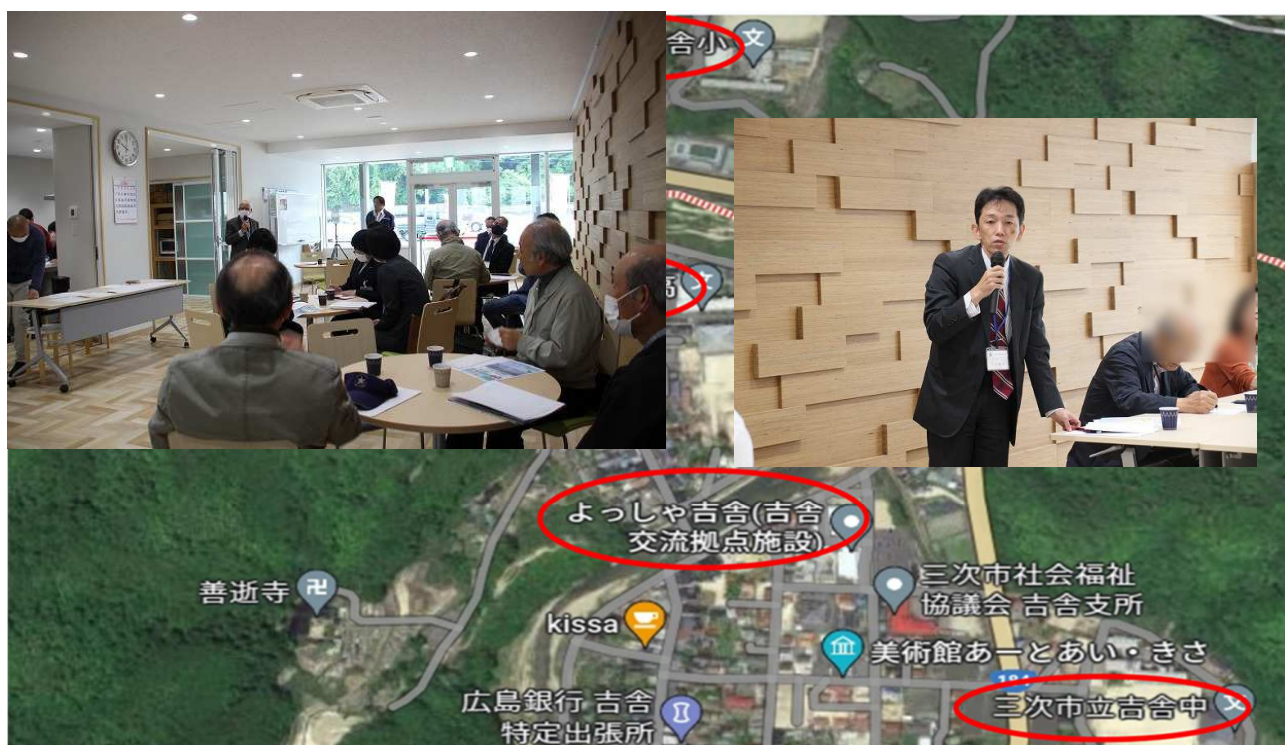
質実剛健・衆縁和合



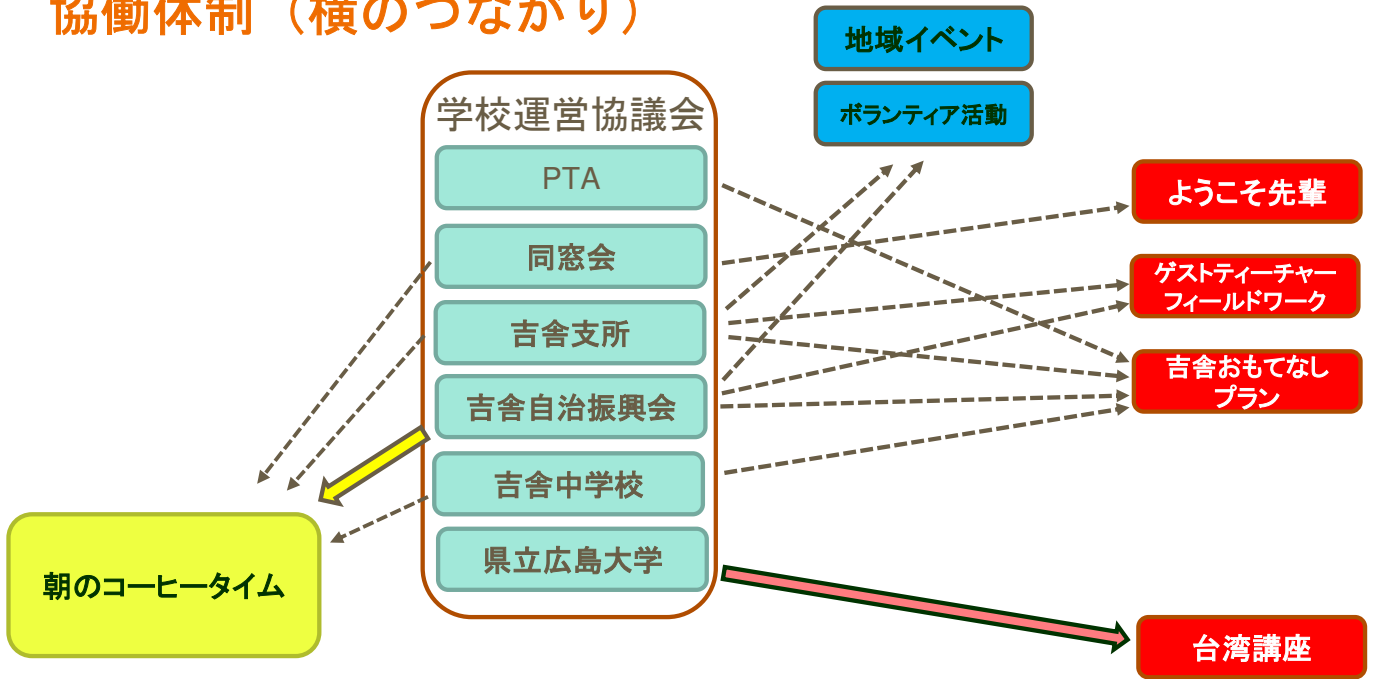
2 協働体制（横のつながり）



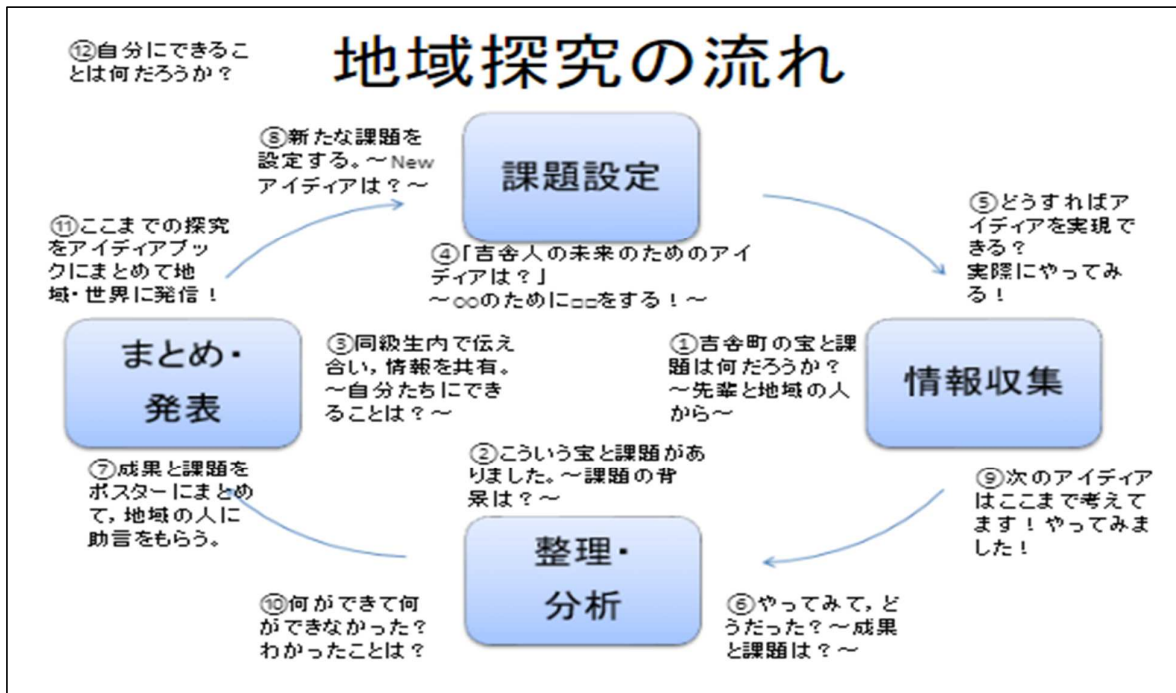
2 協働体制（横のつながり）



2 協働体制（横のつながり）



3 協働による教育課程の編成



- 1年生
 - ・吉舎活性化計画作成
 - ・ゲストティーチャー フィールドワーク
- 2年生
 - ・異文化比較研究
 - ・台湾講座
 - ・JICA講座
 - ・プレ探究ゼミ
 - ・地域探究・伝統文化継承
 - ・異文化比較・個人探究
- 3年生
 - ・探究ゼミ（個人研究）

3 協働による教育課程の編成



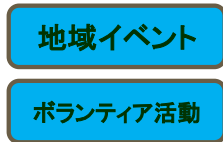
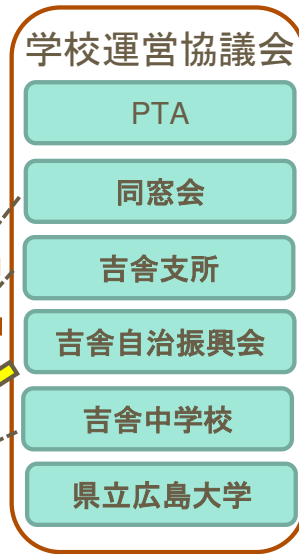
3 協働による教育課程の編成

吉舎おもてなしプラン

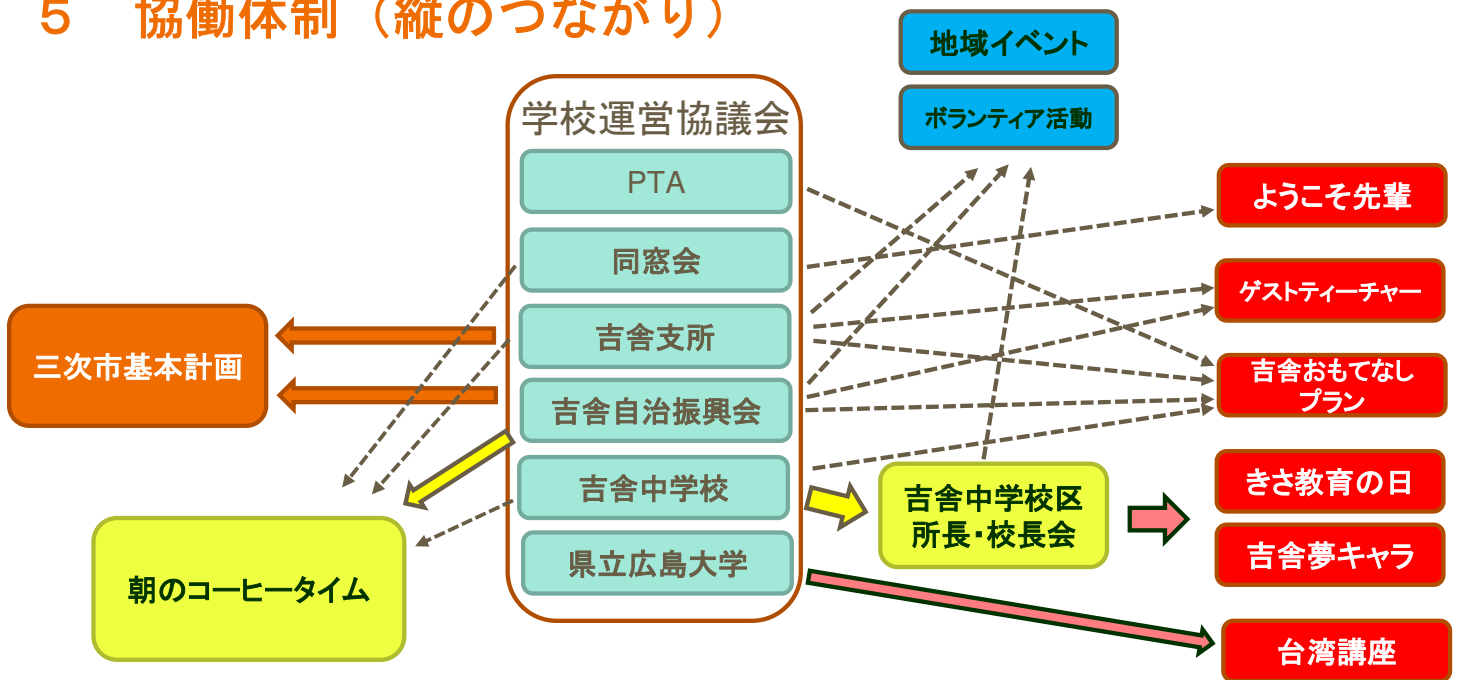
多様性を認め合い、自分と他者の心理的距離感を縮めようとする態度を養うことを目的に、広島大学の留学生を本校に招き、日本の文化紹介や吉舎街歩きガイドツアーで生徒がおもてなしをする。



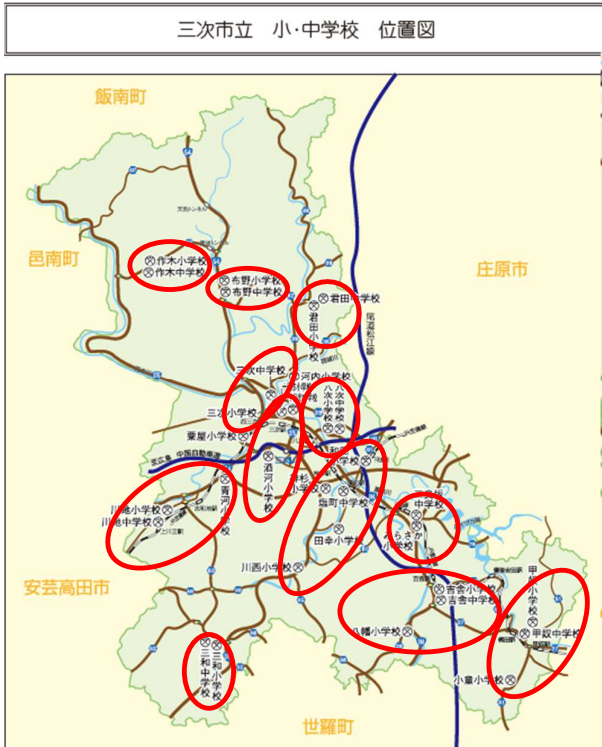
4 行政等との連携



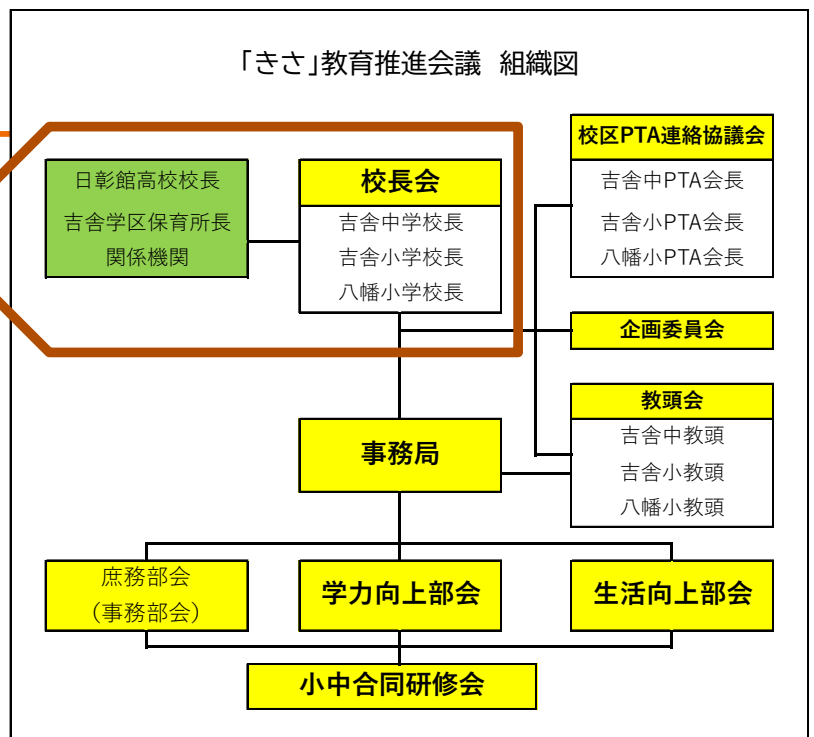
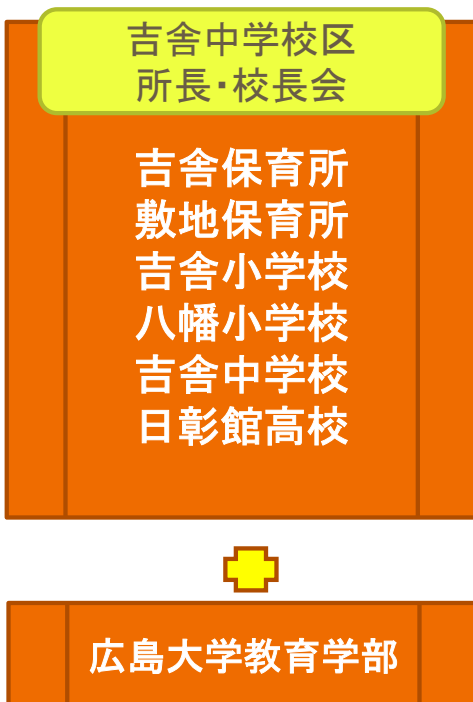
5 協働体制（縦のつながり）



5 協働体制（縦のつながり）



5 協働体制（縦のつながり）



5 協働体制（縦のつながり）

吉舎中学校校区所長・校長会



【第6回協議内容】

- ・吉舎中学校区CSの導入に向けて
- ・道徳教育の推進について
- ・保小中高連携について
- 「きさ教育の日」の実施に向けて
- 表現力の育成について
- 家庭学習の充実について
- ・各所属の情報交流

5 協働体制（縦のつながり）

令和5年度

きさ教育の日

○日時 令和5年11月17日(金) 13時00分開会
○場所 よっしゃ吉舎ホール

主催「きさ」教育推進協議会
協賛 青少年育成吉舎町民会
出演 吉舎保健所・豊地保育所・八幡小学校・吉舎小学校・吉舎中学校・日影館高校



☆「きさ」教育だより☆（保小中高の取組紹介）

吉舎中学校区では「表現力の育成」に力を入れています。

授業の一コマを紹介します。

吉舎中学校区では、研究主題を「表現力の育成」と設定しています。子供たち一人一人が自分らしく自分の生き方を選択していくために必要な力の一つであると考えています。そして、表現力を育成する校の一つとして「考え・議論する道徳」を広島大学大学院人間社会科学部 研究科 宮里智恵教授の指導を受けながら、今年実施しています。研究授業には、保育所、日影館生方も参加しています。

「マンガ家 手塚治虫」～自分らしさを生かして～ 【内容項目】個性の

今ではマンガの神様と言われる手塚治虫さんが、子どものころは苦手なことがあり、漫画を描くことに劣等感を持ちながらも、漫画家の道を選んだ背景を考えることを通して、自分らしく生きるとは何か大切なのかを考える授業でした。

道徳科の時間に考えたことは、その時間に答えて終わるわけではなく、その後の授業を含めた上で、もう一度考えたり、体験したりときにそれぞれの価値観として育っていくのだと思います。そういう特徴を踏まえ、道徳科を中心に他教科や特別活動に結びつけた「学習プログラム」を作っています。「自分を見つめて」というテーマで、事前に自分の短所や長所を考えたり、事後に自分やいどご見付をしたりしています。



日影館高校の活動記録 令和5年8月1日 夏休み

観水公園草刈り作業を行いました！

7月30日(日)に観水公園草刈り作業に参加しました。8月15日(火)に行われる、吉舎ふれあい祭りに向けて、環境整備を行いました。日影館からは部活動の生徒を中心に40名の生徒が参加し、刈られた草を集め、トラックに積み作業を行いました。作業中でしたが、最後まで一生懸命取り組んでいました。

6 地域と連携した教育課程の編成

教科・科目における地域連携

カイハラデニムでトートバッグを作りました

カイハラ産業株式会社のデニムで2年生が「家庭訪問」の授業でトートバッグを作りました。吉舎町のキャラクター「はんざむロック」をカイハラロックのプリント生地を使い、一人ひとりが刺繍をして、オリジナルトートバッグが完成しました。早速、家庭訪問の授業実習で使用したマイクロラインを持って帰りました。カイハラ産業株式会社吉舎工場製のデニムで正真正正「made in 吉舎」のバッグです。

1. 刺繍機

2. 縫製機

生徒の感想
お弁当用にピッタリサイズ♪
通学で使うのが楽しみです。

カイハラ産業株式会社吉舎工場の皆様
ありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

「高校生としゃべって！作って！笑おうの会」を実施しました

令和5年6月22日

令和5年6月14日(水)、吉舎町の「福穴」を会場に第一回「高校生としゃべって！作って！笑おうの会」を実施しました。この会は3年の「生活と福祉」の授業を選択している生徒4名が地域の方々とのコミュニケーションを通して、将来地域で活躍する人材を目指したという目的で企画・実施しました。ポスターを掲示して参加を募集したところ、10名の地域の方が参加してくださいました。始まる前は不安という声でしたが地域の方が温かく迎えてくださり、楽しく会話をしながら、かわいらしい芝人形が完成しました。参加者の皆さん、時間をとお越しいただき、本当にありがとうございました。

一通問が経ち、「芝が生えてきて、とてもかわいいです。」と参加者の方から喜びのお電話をいただきました。

7月19日(水)の第二回に開催し、限られた時間内で参加者の方々と楽しくお話ししながら、効率よく作業するためにはどうしたらよいかを考え工夫しながら、準備をしています。会の実施にあたり、三次市高校生地域活動支援事業からサポートいただきました。ありがとうございました。

第2回「高校生としゃべって！作って！笑おうの会」
日時 7月19日(水)
時間 9:30～10:00
場所 福穴

日影館高校の活動記録

令和4年12月23日更新

第22回「人形劇の会」を行いました

令和4年12月19日(月)、「人形劇の会」を行いました。人形劇の会は、保育演習を選択した3年生が、吉舎町内の保育園児を本校に招いて行う伝統行事で、今年度で22回目となりました。吉舎保育所・敷地保育所の園児を招待し、大音の中、約50名の園児が先立に日影館高校に来てくれました。当日は、人形劇「はんざむのクリスマス」と野菜たちがお風呂に入るお話の「だれからかいる?」を上演し、その後は、毎年恒例の「はんざむロックサンバ」を園児と一緒に踊り交流しました。子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら企画し、一つ一つ準備をしたことは、将来保育士を目指す生徒にとって、とても貴重な体験となりました。

また、三次市高校生地域活動支援事業からサポートをいただき、今年度も無事に人形劇の会を成功することができました。ご協力ありがとうございました。

6 地域と連携した教育課程の編成

日影館高校の活動記録

JR 吉舎駅で美術部(美ハラ産業(株)様とコラボ)お披露目会が開催され

3月28日(火)、JR 福塩線吉舎駅駅舎入り口、美ハラ産業(株)様とコラボしたカイハラデニム生地製の経歴のお披露目会を開催しました。早達様をお招きし、吉舎のイメージキャラクター「山野亨子」もお披露目しました。

カイハラ産業株式会社様と完成した経歴を持つ美術部

デザインした書道部・美術部(美術班)メンバー

日影館高校の活動記録

総合的な探究の時間で地域2年生 12名が「ステキな備」に参加しました。

10月1日(日)、備北丘陵公園で開催された「ステキな備」に備北丘陵公園、備北地域の事業者と高校生がコラボして制作した地域の皆さんに対して初披露しました。2月の「ようこそ先輩」で、コラボをお願いしたことから始まりました。3月、4月と吉舎地域の小学校、保育所、吉舎支所、商店街の方などからもご声援をいただきました。数回には、「好きさ 吉舎」といったフレーズも使われています。ふれあい祭では、佐々木さんと一緒に出す準備も含まれています。ふれあい祭では、佐々木さんと一緒に出す準備も含まれています。佐々木さんはお忙しい中、何度も来場感謝の気持ちを忘れず、これからも地域をPRし、元気にする

ステージ出演前に佐々木リョウさんと一緒に

「好きさ 吉舎」を披露している様子

地域の子も

生徒の感想
大喜びでできたのがよかった
★観覧能力が★
★観覧能力が★

ジビエ入りの芋ライスロック販売の様子

日影館高校の活動記録

佐々木リョウさんと生徒が吉舎のイメージソングを吉域に初披露しました。

8月16日(水)、よっぴ吉舎で開催された「吉舎ふれあい」に備北丘陵公園、備北地域の事業者と高校生がコラボして制作した地域の皆さんに対して初披露しました。2月の「ようこそ先輩」で、コラボをお願いしたことから始まりました。3月、4月と吉舎地域の小学校、保育所、吉舎支所、商店街の方などからもご声援をいただきました。数回には、「好きさ 吉舎」といったフレーズも使われています。ふれあい祭では、佐々木さんと一緒に出す準備も含まれています。ふれあい祭では、佐々木さんと一緒に出す準備も含まれています。佐々木さんはお忙しい中、何度も来場感謝の気持ちを忘れず、これからも地域をPRし、元気にする

生徒の感想より
・影絵が今抱えている課題、今必要なものを私たちが描いて、これからは広げていきたい。
・影絵を吉舎から広島、日本、そして海外へとPRしていく必要があると感じた。

日影館高校の活動記録

令和5年10月5日更新

ばせん座さんの力をお借りし、「影絵」に取り組んでいます。

毎週土曜日の午前中、元氣交流拠点「福穴」の2階の影絵シアターで、元影絵部の部員で現在「ばせん座」として活動されているOBの方から指導を受けて、影絵の継承に取り組んでいます。部長の中川博之さん、メンバーの福永幸雄さん、向井忠志さんと影絵に魅力を感じて活動に参加されている赤瀬南美さんの4名の力をお借りし、人形の動かし方、背景の支え方、懐光器の調整の仕方などを習っています。今は、日影館高校で影絵部の顧問をされていた佐々木先生の声で吹き込まれた「最後の一票」に合わせて、実際に影絵を映し出しながら、7月から本格的に練習しています。参加生徒も増えてきており、毎週3名～7名が参加しています。今年度中に、校内に影絵が練習できる部屋を整備し、日影館高校内で影絵を復活させることを目標に、少しずつ準備を進めています。

7 成果と課題

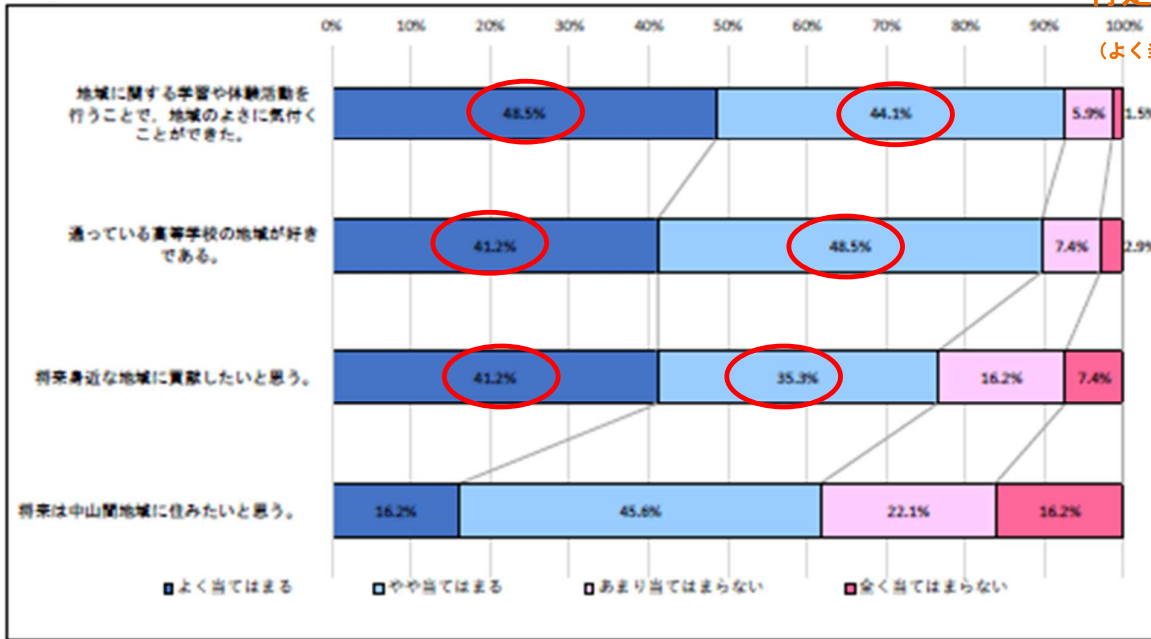
令和4年度「中山間地域の次世代を担うリーダーの育成」事業生徒アンケート等の集計結果

日影館高等学校

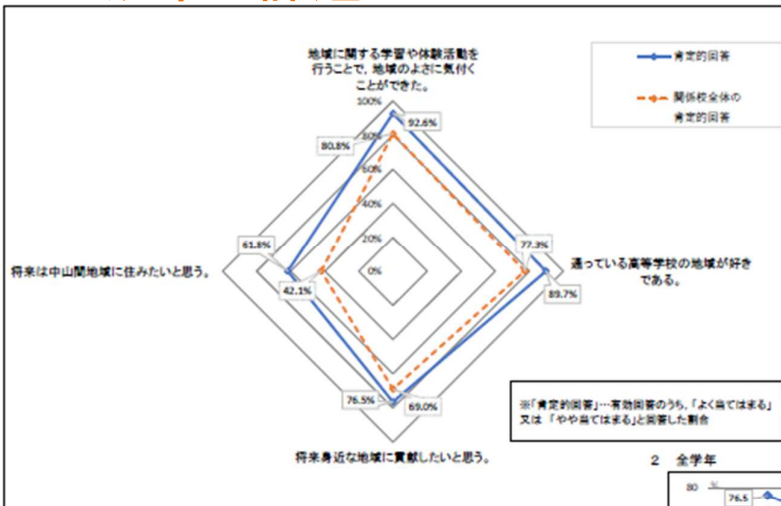
1 3学年

肯定的回答の割合

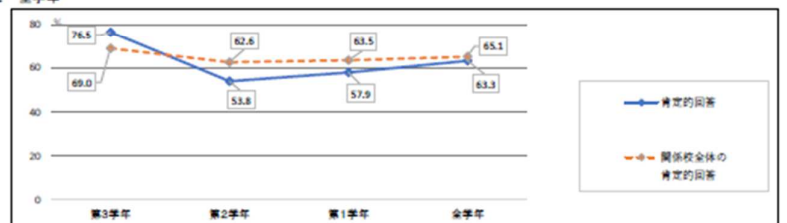
(よく当てはまる+やや当てはまる)



7 成果と課題



2 全学年



※第3学年:アンケート 1-3「将来身近な地域に貢献したいと思う。」
 ※第2-1学年:年度質問結果表 1-(11)「将来、身近な地域に貢献したいと思います。」

7 成果と課題

成果

○生徒の学びの質の向上

- ・主体性を発揮する場の創出
- ・学びをより現実に即し、具体的なものに

○地域連携の緊密化

- ・育成したい生徒像の共有
- ・地域づくりの中で学校づくりを考える
＝地域の課題が探究的な活動を促す教材・題材となる
- ・地域と連携した教育活動の可視化・共有

問題点

○地域連携の在り方

- ・地域と学校のWin-Winな連携を維持すること
- ・「資質・能力」の育成に係る学校と地域の役割の整理

○校内の推進体制

- ・校内における地域連携の体系化、組織化

7 成果と課題

課題

「公教育の知識体系」に
「地域固有の知識体系」を
位置づけるカリキュラムづくり

See you soon!

ご清聴

ありがとうございました



広島県立日彰館高等学校

HP URL

<https://www.nitsushokan-h.hiroshima-c.ed.jp>

公式Instagram

https://www.instagram.com/nisshoukan_high_school



NISSHOUKAN_HIGH_SCHOOL